2026年11月16日

各　位

会社名　　株式会社イオレ
代表者名　　代表取締役社長兼CEO　　瀧野 諭吾
（コード：2334、東証グロース）
問合わせ先　　執行役員CFO　　貞方 渉
（TEL.050－5799－9400）

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2026年5月15日に公表いたしました2027年3月期(2026年4月1日～2027年3月31日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2027年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,552	1,142	1,494	1,270	30.96
今回修正予想(B)	48,400	2,632	3,069	2,234	48.03
増減額(B－A)	22,848	1,490	1,575	964	－
増減率(%)	89.4	130.5	105.4	75.9	－
(ご参考)前期実績(2026年3月期)	14,159	211	△506	△528	△15.34

2. 修正の理由

(1) 売上高

セグメント別の売上高の見通しは以下のとおりです。

セグメント	前回発表予想(百万円)	今回修正予想(百万円)	増減額(百万円)
AI DC事業	19,980	44,465	24,485
AI UI事業	4,003	3,380	△623
オンチェーン金融事業	1,568	554	△1,014
合計	25,552	48,400	22,848

(注)単位未満を切り捨てて表示しているため、各セグメントの合計と合計欄は一致しない場合があります。

AI DC事業は、GPUサーバー販売が当初計画を上回って推移していること、下期より計算力提供(ネオクラウド事業)を開始したこと、及び2026年10月15日付「株式交換によるWOODMAN株式会社の完全子会社化に関する株式交換契約の締結並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」にて公表いたしましたWOODMAN株式会社(以下「WOODMAN」といいます。)を2026年12月から連結の範囲に含める予定であることから、売上高は前回発表予想を24,485百万円上回る44,465百万円となる見込みです。

AI UI事業は、新サービスの提供開始時期を見直したことから、売上高は前回発表予想を623百万円下回る3,380百万円となる見込みです。

オンチェーン金融事業は、2026年10月30日付「暗号資産(BTC)の売却及び売却損の計上見込み並びに資金使途の変更に関するお知らせ」にて公表いたしました保有ビットコインの売却及び資金使途の変更に伴い、自己保有暗号資産の運用収益を見込まない計画に見直したこと等から、売上高は前回発表予想を1,014百万円下回る554百万円となる見込みです。

(2) 営業利益

営業利益は、前回発表予想を1,490百万円上回る2,632百万円となる見込みです。主な増減要因は以下のとおりです。

増減要因	営業利益への影響額(百万円)

AI DC 事業(GPU サーバー販売の増加、計算力提供の開始、WOODMAN の連結等)	2,821
オンチェーン金融事業(計画の見直しに伴う売上高の減少等 △662、暗号資産売却損 △270)	△932
AI UI 事業(新サービスの提供開始時期の見直し)	△262
本社費用(新事業の開始及び子会社の増加に伴う体制整備等)	△135

(注)単位未満を切り捨てて表示しているため、各要因の合計と増減額は一致しない場合があります。

暗号資産売却損 270 百万円は、本日付「(開示事項の経過及び訂正)暗号資産(BTC)の売却完了及び売却損の計上に関するお知らせ」のとおり、2027 年 3 月期第 3 四半期において売上原価に計上いたします。

(3) 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益の増加に伴い、経常利益は前回発表予想を 1,575 百万円上回る 3,069 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を 964 百万円上回る 2,234 百万円となる見込みです。なお、今回修正予想の経常利益には、第 2 四半期連結累計期間に営業外収益として計上した暗号資産評価益 386 百万円を含んでおります。

3. 今回修正予想の前提

(1) WOODMAN の連結

WOODMAN との株式交換は、2026 年 11 月 27 日開催予定の当社臨時株主総会における承認を前提として、2026 年 11 月 30 日を効力発生日とする予定です。今回修正予想には、2026 年 12 月から 2027 年 3 月までの 4 か月分の WOODMAN の業績、のれん償却費及び当社向け取引に係る未実現利益の消去を織り込んでおります。

会計上の取得原価は効力発生日の当社株価に交付株式数を乗じて算定されるため、のれんの金額は同日の当社株価により変動いたします。今回修正予想では、2026 年 11 月 13 日の当社株価(終値)を用いて算定しております。

(2) 暗号資産の評価損益

暗号資産の期末評価損益は、2026 年 9 月 30 日時点の時価を前提としております。

(3) 計算力提供に係る売上高の表示

計算力提供のうち、当社が代理人として関与する取引は純額で表示しております。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以　上